

令和2年12月2日

運営協議会委員各位

学校運営協議会会長 首藤 規康

令和2年度 第2回高森東学園学校運営協議会会議録

下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 日時：令和2年12月1日（火）19：00～
2. 場所：高森東学園2棟会議室
3. 出席者等  
運営協議会委員13名  
教育委員会（甲斐先生、田中先生、児玉さん）、教頭2名、高森東学園CS担当職員、計19名  
欠席者（浅川、城井、吉良山）
4. 日程
  - 1 開会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 前回議事録確認
    - (2) 協議
      - 教職員の任用に関する意見の集約について
        - ア) 学校長より
          - ・プレゼンによる説明
        - イ) 質疑
          - ・コロナによる子供たちの精神面的な影響などはないか？  
⇒感染に対する不安はあった。しかし、子供たちが素直に言ってくれるので、それに対して学校からの対応ができた。今後も繰り返しの指導が必要。
        - ウ) めざす学校・児童生徒のために必要な人的環境について

こんな東学園に	こんな児童生徒に	そのためにどんな教職員がいればよいか
・東の良さをいかせるような、コミュニティ・スクールが活発な東学園		・地域の人材を活かせるような先生

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が気軽に立ち寄れる東学園</li> <li>・早い段階から専門的にいろいろな知識を学ぶことができる東学園</li> <li>・社会人としての生きる力を持った児童生徒</li> <li>・自信をもって自分を表現できる児童生徒</li> <li>・少人数で育ってきたので、大人数にも対応できる力やコミュニケーション力を持った児童生徒</li> <li>・困難にくじけない強い心・気持ちを持った児童生徒</li> <li>・思いやる心をもった児童生徒</li> <li>・人の気持ちがわかり、その人の立場になって考えることができる児童生徒</li> <li>・心の豊かさや優しさを持った児童生徒</li> <li>・故郷に誇りを持ち、郷土の強みや弱みを知り、ふるさとを創れる児童生徒</li> <li>・両親に感謝の気持ちを持ち、生まれ育った地が好きと言える児童生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの技術を持っている先生</li> <li>・時代の流れに対応し、常に学び続ける先生</li> <li>・一人一人にかかわり、子供の気持ちをしっかり受け止めてくれる先生</li> <li>・子供の得意なこと、好きなことを見つけ、認め、支えてくれる先生</li> <li>・明るくて挨拶をしてくれる先生</li> <li>・先生方の負担を減らす</li> </ul>
---	--

(3) その他

4 連絡事項

○授業参観について

12月11日（金）に実施。学校や子供たちの様子を見に来られてください。

○次回（第3回）開催

2月 学校評価について 郵送にてお知らせ

○懇親会

今年度は中止の方向で

○予算の余りについて

- ・グラウンドから見える外用の時計を設置できないか検討中
- ・東学園の看板をもう少し増やすことも必要かも（宮崎県側など）
- ・学校名の看板がない（交差点）

⇒次回の会議までに検討していく

※教育委員会より

- ・コロナ禍で様々なことが中止になっていたりして、先生達が疲労していないか心配だったが、先週の研究発表会では子供たちも先生たちも素晴らしい発表が行われた。これまでの学習がつながっていると思う。
- ・これからも地域とのつながりを大切にしてもらいたい。今年度、地域学校協働本部を立ち上げたが、コロナの影響で何もできていない。来年度は会議などを実施したいと思っている。

以上